



目次

◇青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘!リンゴだけじゃねえべ?～ 地域貢献産業交流事業(物産展)開催決定・学生活動報告	1
◇2015年度 地域研究センタープロジェクト一覧	2
◇2014年度 地域研究センター受託研究『東日本大震災学術調査』[行政・自治]研究報告	3
◇2015年度 外国語会話講座のご案内	3
◇2015年度 公開講座のご案内	4
◇青森公立大学まちなカラボ 地域情報コーナーのご紹介	4

青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘!リンゴだけじゃねえべ?～ 地域貢献産業交流事業(物産展)開催決定・学生活動報告

昨年度に引き続き、物産展「青森まるっとよいどころ祭り～青森ひみつ発掘!リンゴだけじゃねえべ?～」を2015年10月3日(土)に開催します。青森市をはじめとした県内自治体等と連携し、青森県の観光や特産品の魅力を県内外に情報発信することで、本学の地域貢献を産業交流の面から一層進めていきます。昨年度から開催し多くのご好評をいただいた本事業は、今年度は規模を倍以上に拡大し、学生視点で発想された企画も多く実施し、これまで以上に地域の魅力を発信する予定です。

本事業は、本学学生が実際に各地域を訪れ、参加の交渉をはじめとしたすべての企画・運営をおこなっており、すでに今年度の開催に向けて、着々と準備が進められています。参加自治体の一つである佐井村を訪れた学生は、村内の特産品や観光スポットを熱心に調査し、写真や動画を撮影しながら活動を記録していました。佐井村の特産品であるういの殻むきにも挑戦し、苦戦しながらういの殻がむけた後には味見し、その新鮮さと味わい深さを実感していました。

今年度からの新しい企画も進行しています。青森市中心市街地の商店街や訪問した各地域の観光や特産品をはじめとした様々な魅力を写真や動画に収め、学生の視点から編集・加工し、イベント当日にプロジェクターを使い投映し、その成果を来場者の皆さまにもご覧いただく予定です。本企画の担当である地域みらい学科3年の赤坂由希奈さんは、「実際に各地域を訪れて感じた魅力や、青森市の商店街の食やサービスといった魅力を学生目線で伝えて、各地へ足を運んでもらうきっかけを作りたい」と意気込みを話していました。当日は、産品が購入できるだけでなく、青森地域の新たな魅力を多くご覧いただけるかもしれません。

その他にも、地域の魅力をヒト・モノ・情報等の様々な視点から探り、イベント当日だけでなく普段の地域に活気を生み出すための企画を多く進行しています。

本事業の詳細は、本学ホームページやポスター、チラシにて順次お知らせいたしますので、ご覧ください。



ういの殻むきを体験する学生



今年度の事業内容について説明する学生

《青森まるっとよいどころ祭り》

学生プロデュースによる本学主催の地域産業交流事業(物産展)です。本学が主体的、能動的に地域へ飛び出し、具体的な事業を開催することで、知的・人的資源を地域へ還元し、青森市の中心市街地活性化やその他の青森地域の活性化に貢献する目的で2014年度より開催しています。

2015年度 地域研究センタープロジェクト一覧

◇ 地域コンテンツ配信端末の実装に関する調査、研究Ⅲ

地域ハイブリットコンテンツ配信手法の研究(財団助成)により得られた成果を実装し地域のために役立つための調査、研究です。2015年度は、研究成果のとりまとめと公表を行います。

◇ 地域文化教育に関する情報発信～青森県の人材(人財)養成～

青森県の人材(人財)を養成するための事業です。地域資源とも言うべき、地域文化を外にむけ発信し、青森県民に対して貢献できる体制を構築する事業を継続中です。

◇ 地域研究センター情報発信事業

大学と地域社会を媒体し、大学の知的資源を積極的に地域社会に還元するための情報発信を行います。2015年度は、デジタル媒体と紙媒体を用いて、センターの日頃の実践活動や調査研究活動の成果を積極的に発信します。

◇ 地域経営・リスクマネジメント戦略～「幸せと生きがい」の地域社会形成～

地域社会において「幸せと生きがい」のある生活と経営を守り、発展させていくための理念と方法を開発します。2015年度は、地域社会において「幸せと生きがい」のある生活と経営を、発展させていくための理念と方法を開発し、実践の拠り所となりえる理論的実践的研究を行います。

◇ 観光行政のイノベーション～米国、台湾、インドネシア他アジア諸国との国際協働から～

今後の青森県及び青森市における地域づくり、公共経営及び観光行政イノベーション研究を行います。2015年度は、観光行政及び経営政策に特化する形で実践的に検討します。

◇ 地域活性化の「主体」をめぐる比較言語・文化・社会学的考察Ⅱ

日本の地域活性化を、より効果的に推進しうる「主体」についての輪郭を考察します。2015年度は、幾つかの「地域」や「地域活性化」の主体となっている機関・団体を訪問し、調査を行います。

◇ 日本の大学における留学交流支援制度とその有効性に関する研究

日本の大学生に、より効果的な派遣支援プログラムを提供するための調査・検証を行います。2015年度は、英国スターリング大学、早稲田大学と連携し、大学別プログラムの構成、特徴等を調査します。

◇ 青森県中学生のライティング能力とライティング不安及び中学英語教員のライティング指導不安に関する調査研究

中学英語教員のライティング指導不安の実態把握及び分析を通して、有効な指導法や学習方法について考察します。2015年度は、「青森県高校選抜学力検査」及び「青森県学習状況調査」の分析と考察及び質問紙調査の作成・分析・考察します。

◇ 平内町出身の英文筆家 佐々木多門をテーマにした英語科リーディング教材の開発に関する研究Ⅱ

佐々木多門の業績について国内外の文献調査を行い、これまでの業績と併せてその歴史的価値を検証します。2015年度は、資料等の発掘・解読・考察します。

2014年度 地域研究センター受託研究 『東日本大震災学術調査』「行政・自治」研究報告

本研究は、東日本大震災の記録を残し、広く学術関係者により科学的に分析し、その教訓を次世代に伝承し、国内外に発信するため日本学術振興会より受託し、2012年度から2014年度に亘り行った研究である。まず、福島県南相馬市及び相馬市をケースとして、自治体全体をリードしていく首長のリーダーシップ及び地域経営に焦点を合わせて進めた。災害が発生した場合、首長は市町村災害対策本部を設置し、その本部長は市町村の長が行うことになっている。我が国の市町村の首長には災害時における広範囲な責務、権限が与えられており、首長の判断、リーダーシップの理念と方針は、住民の安全と生活を確保していく上で、極めて重要であると考えられているためである。

福島県南相馬市では、放射能から命を守ることが最上位の政策課題となり、多くのボランティアやNGO、NPOなどの支援により公共政策が展開された。そのため、価値志向型のリーダーシップが効果的であったと考えられる。また、福島県相馬市では、放射能による風評被害や津波被害の復興課題に重点を移し、首長によるトップダウン的なリーダーシップが功を奏した面があると思われる。

本来、いかなる状況においても高い志と使命感を持ち、魅力的なストーリーを紡ぎ続けること、そこに地域づくりにおける経営戦略の本質が存在している。状況の変化に対応しつつも、優れた理念志向のリーダーシップを常に追求していく姿勢の重要性を2つの自治体事例は示唆しているといえよう。

本研究の成果は、各種学会でも研究発表や論文として発表され、ICPA（国際研究学会）では“Best Practice Award”を受賞した。



ICPA国際研究学会にて報告する遠藤研究員

研究責任者：地域研究センター研究員 遠藤哲哉

2015年度 外国語会話講座のご案内

毎年ご好評いただいている外国語会話講座を2015年7月から順次、青森公立大学まちなカラボ(フェスティバルシティ・アウガ6階)にて開講いたします。観光・旅行、ビジネス及びTOEIC対策を中心とした全5講座を開講いたします。受講料はいずれも無料になります。(ただし、各講座毎に別途テキスト代が必要です。)申し込み方法等の詳細はポスター、チラシまたは青森公立大学地域連携センターホームページをご覧ください。

コース	内 容	日 程	対象・定員
Tourism English 初 級	観光・旅行業に必要な 初歩的英会話	8月24日(月)～9月3日(木) 18:00～19:00 全4回	一般社会人・学生 定員：10名 (先着順)
Tourism English 中 級	観光・旅行業に必要な 実践的英会話	7月28日(火)～7月31日(水) 18:00～19:00 全4回	一般社会人・学生 定員：10名 (先着順)
Business English 初 級	ビジネス場面に必要な 初歩的英会話	7月28日(火)～7月31日(水) 19:00～20:00 全4回	一般社会人・学生 定員：10名 (先着順)
TOEIC対策 500点	TOEIC500点をを目指すコース	8月25日(火)～9月4日(金) 18:00～19:00 全4回	一般社会人・学生 定員：10名 (先着順)
TOEIC対策 700点	TOEIC700点をを目指すコース	9月10日(木)～9月15日(火) 18:30～19:30 全4回	一般社会人・学生 定員：10名 (先着順)

2015年度 公開講座のご案内

今年度は、下記の公開講座を予定しています。受講料は無料となっておりますので奮ってご参加ください。なお、申し込み方法等の詳細は、ポスター、チラシまたは青森公立大学地域連携センターホームページをご覧ください。

場所 フェスティバルシティ・アウガ5階 男女共同参画プラザ研修室
時間 18時30分～ 20時30分(人間の探求Vは20時15分)
対象 一般社会人・学生(高校生・学部生・大学院生) **定員** 各回50名程度(先着順)

人間の探求V –仏教の観点から–

第1回	10月19日(月)	ブッダの前生物語
第2回	10月29日(木)	仏教中級 –無我の新しい解釈–

地方創生時代の「地域経営」を考える –若者、女性、高齢者の英知を活かし、地域価値の創造をめざして

第1回	10月 6日(火)	地方創生時代における地域経営の課題と展望 –青森の観光産業による地域経営に向けて–
第2回	10月13日(火)	地方創生時代におけるグローバル化戦略 –青森のグローバル化と貿易促進に向けて–
第3回	10月27日(火)	地方創生時代における情報ネットワーク戦略 –青森における情報利活用のさらなる推進に向けて–
第4回	11月10日(火)	地方創生時代における地域イノベーション創造戦略 –青森の地域イノベーションに向けて–
第5回	11月13日(金)	地方創生時代における経営戦略 –青森の心づくし企業とWe love Aomori Clubのご提案–
第6回	11月17日(火)	地方創生時代における地域経営 –青森の「幸せと生きがい」の地域づくり戦略形成–

青森公立大学まちなかラボ 地域情報コーナーのご紹介

フェスティバルシティ・アウガ6階青森公立大学まちなかラボ入口横に、地域情報コーナーを設置しました。青森県内地域の情報や本学の地域研究に関する活動実績を配布または閲覧できます。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



多目的サテライト 青森公立大学まちなかラボ



本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口として、ご利用下さい。経営相談も承ります。

〒030-0801 青森市新町1-3-7 青森駅前再開発ビル(アウガ)6階
 電話:017-718-7025 Fax:017-776-2082
 E-mail: lab@bb.nebuta.ac.jp
<http://www.nebuta.ac.jp/chiken/machinaka-lab/>
 開室時間 13:00～21:00

(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5～8階公共施設休館日は、休業いたします。)